

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 210-8577

住 所 川崎市川崎区宮本町 1 番地

氏 名 川崎市病院局

川崎市病院事業管理者 金 井 歳 雄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第 10 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎市病院局		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎市川崎区宮本町 1 番地		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第 4 条第 1 号該当事業者	業務 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第 4 条第 2 号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第 4 条第 3 号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第 4 条第 4 号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	10,066 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ～ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

1 事業者全体基本方針

川崎市役所では「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」において「市役所の率先取組の推進」を基本施策の柱として掲げており、その目標の一つとして「2030年度までに市の事業活動に伴う温室効果ガス排出量を2013年度比で23%削減すること」や「災害時等にも活用できる再生可能エネルギーの優先的な利用」、「環境に配慮した契約や物品調達等の推進」を掲げている。

但し、市民に直接影響のある施設では、電力需給対策による市民への影響を可能な限り回避するとしている。そのため、事業者全体の基本方針としては、市役所の基本方針に合わせながら、利用者の安全・安心の確保を最優先としたうえで次の方針を中心とした地球温暖化対策を進める。

(1) 地球温暖化対策に関する取組を組織的に行い、継続的に対策を推進する。

(2) 設備等の老朽化に伴うエネルギー消費の増大を防ぐため、法定耐用年数を踏まえた計画的な更新を推進する。

(3) 設備の導入に関しては、温室効果ガス排出量が少ないものや省エネ効果が高いものを導入するように努める。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

年度計画の実施項目の進捗管理とエネルギー使用量および排出量の実績管理を行い、予算管理も含めて運転・設備保全上での省エネ課題を整理し、年度計画の見直しを行う。

以上の基本方針によりPDCAサイクルを実行・管理する。

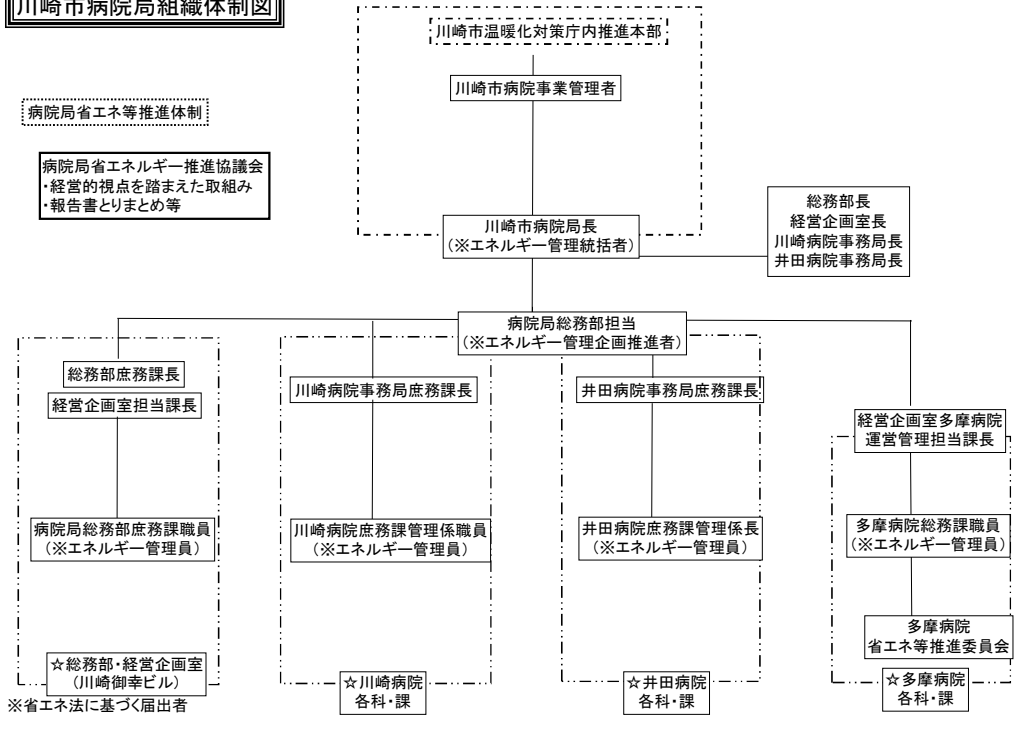
2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制

別紙「組織体制図」のとおり

# 川崎市病院局組織体制図

## 病院局省エネ等推進体制

病院局省エネルギー推進協議会  
 ・経営的視点を踏まえた取組み  
 ・報告書とりまとめ等



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。)

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標	年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準	排出量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) 18,386 (調) 18,311		(基) (調)		(基) (調)	
目標	排出量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) 12,537 (調) 12,489		(基) (調)		(基) (調)	
削減	量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) 5,849 (調) 5,822		(基) (調)		(基) (調)	
削減	率	(基) 31.8 % (調) 31.8 %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第2年度	(年度)	排出量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第3年度	(年度)	排出量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
比較年度	2013	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	25,293 22,597	(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	12,537 12,489	(基) (調)		(基) (調)	
削減率(目標)	(基) (調)	50.4 % 44.7 %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

川崎市役所では「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」を2022年度に改定し、「2030年度までに市公共施設全体の温室効果ガス排出量を2013年度比で50%以上削減すること」を目標に掲げている。市立川崎病院及び市立井田病院においては、2026年度以降、調達電力を100%再エネルギー化する予定である。その効果として2026年度は、川崎病院及び井田病院合わせて6,000t-CO<sub>2</sub>程度の削減を見込んでいる。これに加えて、温室効果ガスの排出量の削減に向けた取組を継続し、本計画期間では、3病院合わせて31.8%の削減を目指す。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○川崎病院では、設備の更新に併せた高効率機器への切替えを行う。また、窓ガラスへの遮光フィルムの設置やグリーンカーテンの設置など、冷暖房の高効率化を進めていく。さらにエネルギーサービス事業の運転最適化に向けた事業者との継続的な検討会の実施していく。</li> <li>○井田病院では、設備の更新に併せた高効率機器への切替えを行うとともに、冷暖房の高効率化を進めていく。</li> <li>○多摩病院では、照明のLED化を引き続き継続する。ポンプ等機器更新の際はトップランナー基準を満たした機器を採用する。空調機やポンプ等長時間運転する機器へのインバータ設置を検討する。</li> <li>○川崎病院及び井田病院においては、調達電力の100%再エネ化を実施する。</li> </ul>
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値(1、2号該当者)

原単位等の活動量		延床面積	原単位等の単位			kl/m2
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
エネルギー消費等の原単位の値	0.08031					0.078
活動量の値	125300					125338
エネルギー消費等の削減率			%	%	%	3.0 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(4号該当者)

原単位等の活動量			原単位等の単位			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出量原単位の値						
活動量の値						
排出量原単位の削減率			%	%	%	%

(3) 目標設定に関する説明

川崎市では、「川崎市地球温暖化対策推進計画」等に基づき、事務事業に伴う温室効果ガス排出量の削減及びエネルギー使用の合理化を重点施策として位置付けている。川崎市病院局においても、当該計画の趣旨及び目標を踏まえ、エネルギー消費の削減に計画的かつ継続的に取り組む。エネルギー消費原単位については、前年度比で年間1%以上の削減を目標とし、継続的な改善に取り組む。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移 (1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
原油換算エネルギー使用量	10,066 kL	kL	kL	kL
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量	18,386 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
事業所の数	4			

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量<<クレジット考慮>> (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
川崎市立川崎病院	川崎区新川通12-1	8,674			
川崎市立多摩病院	多摩区宿河原1-30-37	5,070			
川崎市立井田病院	中原区井田2-27-1	4,625			

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	<p>○川崎病院では、設備の更新に併せた高効率機器への切替えを行う。また、窓ガラスへの遮光フィルムの設置やグリーンカーテンの設置など、冷暖房の高効率化を進めていく。さらにエネルギーサービス事業の運転最適化に向けた事業者との継続的な検討会の実施していく。</p> <p>○井田病院では、設備の更新に併せた高効率機器への切替えを行うとともに、冷暖房の高効率化を進めていく。</p> <p>○多摩病院では、照明のLED化を引き続き継続する。ポンプ等機器更新の際はトップランナー基準を満たした機器を採用する。空調機やポンプ等長時間運転する機器へのインバータ設置を検討する。</p>
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項(1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入(基準年度)

種類	設備規模(kW)	発電量(kWh/年)	余剰売電量(kWh/年)	導入(保有)年度
太陽光	33	35,310		平成23年度
風力				
バイオマス (燃料: )				
その他( )				
その他( )				
合計	33	35,310	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電力エネルギー消費量	21,626,640 kWh	kWh	kWh	kWh	21,626,640 kWh
再エネ電源等	432,808 kWh	kWh	kWh	kWh	14,959,290 kWh
再エネ電源比率	2.0%	%	%	%	69.2%

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.364				0.364

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電化の割合	47.8%	%	%	%	47.8%

(4) 目標設定に関する説明

川崎市役所では「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」を2022年度に改定し、「2030年度までに市公共施設全体の温室効果ガス排出量を2013年度比で50%以上削減すること」を目標に掲げている。市立川崎病院及び市立井田病院においては、2026年度以降、調達電力を100%再エネルギー化する予定である。その効果として2026年度は、川崎病院及び井田病院合わせて5,579t-CO<sub>2</sub>程度の削減を見込んでいる。これに加えて、温室効果ガスの排出量の削減に向けた取組を継続し、本計画期間では、3病院合わせて31.8%の削減を目指す。

(5) 計画期間の再生可能エネルギー源等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	川崎病院及び井田病院において2026年度に調達電力の100%再エネ化を実施する。	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間における再生可能エネルギー源等の導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	2050年までの脱炭素化表明有・計画有			
内容	2050年度のCO2排出量実質ゼロ			
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	2050 年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	2030 年度	年度	年度	年度
	50 %削減 ( 2013 )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	有			
内容	2030年度までに50%削減 (2013年度比)			

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	該当なし			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）  
 （各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

目標年度までの 計画	無し
第1年度	
第2年度	
第3年度	